

# 2009年1月31日(土)～2月1日(日)

新宿NSビル NSスカイカンファレンス(30F)

## 第10回全国障害者生活支援研究セミナー

### ほんとうの自立支援とは

### —本人中心の支援のありかたを問う—

現在、国の社会保障審議会障害者部会では2009年の障害者自立支援法の見直しについて議論されています。障害者自立支援法は、なにより障害者福祉施策の財源を確保するために、障害者福祉制度に介護保険制度を導入するという厚生労働省の計画が不成立となった代案として、十分な検討期間もないまま、まとめられ成立しました。利用者負担や障害程度区分のあり方、国と地方の役割分担・負担のあり方、サービスの種別の問題、給付額の低さ等々、さまざまな課題を孕んでいます。

また、障害者自立支援法では、就労し自ら収入を得るようになることに「自立支援」の重点置かれています。働いて収入を得、経済的に自立していくこと、それを支援することは大変重要なことですが、一方で「自立とは、本人の意志と自己選択をもとにして、必要なサポートを受けながら生活すること」という、当事者運動が培い、障害者福祉の基本となる「自立」概念がいかされないものになっています。理念や制度のすべては、国庫負担を低く押さえて障害者福祉を行うことを前提とした上に成り立っているかのようです。そのことが、障害者本人、家族、支援者に先行きの見えない不安感を与える原因となっています。

「サポート研」(特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会)では、障害がある人が「自分らしく」地域で暮らせる社会の実現を目指し、「本人中心の支援の確立」についてさまざまに議論し、セミナーをおこなってきました。今回は、障害者自立支援法の見直しにあたり、あらためて自立とは何か、自立支援のあり方はどうあるべきかを、制度論、支援実践論として考えたいと思います。制度の動向にとらわれず、「本人」を中心にした支援を貫くために、そのあり方を様々な観点から検討したいと思います。多くの方の参加をお待ち申し上げます。

#### ◆ 1日目 ◆

#### ◆ 基調講演 (10:15～12:00) ◆

◆ 「障害福祉とこれからの支援のありかた」小沢 温 氏 (東洋大学ライフデザイン学部教授) ◆

#### ◆ 実践報告 (13:00～17:15) ◆

「ほんとうの自立支援とは —本人中心の支援のありかたを問う—

● 松村 昌子 (ワークセンター豊新・大阪)・松端 克文 (桃山学院大学社会学部准教授)

● 牧野 賢一 (湘南福祉センター下宿屋・神奈川)

● 藤田 進 (みずき福祉会 八王子市障害者療育センター・東京)

進行・課題整理 安藤 真洋 (社会福祉法人武蔵野・東京/当会理事)

● 2日目は6つの分科会に分かれて討議します ●

#### サポート研とは

障害をもつ人たちも社会の一員として地域社会の中で可能な限り普通の生活を送るのが当たり前であるというノーマライゼーションの理念が受け入れられて、近年様々な改革が行われてきています。しかし、重い障害をもつ人たちが地域社会で生活するために必要な支援システムの整備は極めて遅れています。

私たちは、1994年から全国障害者通所活動施設リーダー職員研修会を毎年開催し、施設間の経験交流や援助技術の共通化を図ってきましたが、この中で、通所施設に限らず地域生活支援全体を研究し、そのシステムを作り上げる必要性が確認されてきました。ここへの取組みを一層強化するために、全国障害者通所活動施設リーダー職員研修会を発展的に解消し、1999年3月、全国障害者生活支援研究会(通称「サポート研」)を結成いたしました。さらに2000年3月に、会の目的を達成するために、特定非営利活動法人の法人格を取得し、特定非営利活動法人全国障害者生活支援研究会(通称「サポート研」)として、さらに力強く活動を推進していく体制を整えました。

特定非営利活動法人全国障害者生活支援研究会は、「社会生活において多くのサポートを必要とする障害者の生活を支援するための研究」を目的とする研究組織です。研究は、障害をもつ人たちやそのご家族の生活、サポートする会員の支援実践を基盤においています。障害の種別や程度に関係なく、障害をもつ人たちやそのご家族が地域社会で充実した生活を送ることができるよう、支援システムと支援技術の確立を目指し、実践と研究活動を進めていきます。この趣旨に賛同する方たちの、積極的な参加を呼びかけます。

NPO 法人 全国障害者生活支援研究会 (サポート研) <http://support.ryoiku-c.com/>  
〒210-0848 神奈川県川崎市川崎区京町2-24-4-608 TEL/FAX 044-271-8788  
申込み、問い合わせはメール、電話、ファックスで support-ken@forest.ocn.ne.jp

